

# 魚類図鑑

注意：全長は、ふつうに見られる中で最大の大きさです。

## シマドジョウ

コイ目ドジョウ科

全長：約7cm



### ■解説

体は細長く、6本のひげがあります。眼の下に眼下棘<sup>がんかきよく</sup>とよばれるとげを持っています。体の横には黒い斑紋<sup>はんもん</sup>が並んでいます。

水がきれいで、底が砂やレキの場所に多く見られ、驚くと砂の中にもぐります。繁殖期は5~6月で、オスがメスにまきついて産卵します。

天竜川では、支流などのごく一部にしか生息していません。

### ■食べているもの

底生動物やデトリタス（落ち葉や動物の死がいなどが分解されたもの）などを食べています。

### ■現地調査での確認範囲

|     |     |     |
|-----|-----|-----|
| 下流域 | 中流域 | 上流域 |
|-----|-----|-----|

### ■主な生息環境

|         |
|---------|
| 河川域     |
| ワンド 淵 瀬 |

### ■生活型

|          |
|----------|
| 純淡水魚     |
| □：主な確認範囲 |

## カワヨシノボリ

スズキ目ハゼ科

全長：約6cm



### ■解説

ほほに小さな黒い点がたくさんあり、産卵期にメスの腹が黄色くなります。

川の中~上流部にすんでいて、同じ淡水でも湖や池では見られません。川底の石の下に産卵します。

一生を川で過ごすので、「カワ」という名前がついています。

### ■食べているもの

川底の石についた藻類、小型の水生昆虫を食べています。

### ■現地調査での確認範囲

|     |     |     |
|-----|-----|-----|
| 下流域 | 中流域 | 上流域 |
|-----|-----|-----|

### ■主な生息環境

|         |
|---------|
| 河川域     |
| ワンド 淵 瀬 |

### ■生活型

|          |
|----------|
| 純淡水魚     |
| □：主な確認範囲 |

## トウヨシノボリ

スズキ目ハゼ科

全長：約7cm



### ■解説

尾びれのつけ根にあるオレンジ色<sup>いろ</sup>（橙色）のもようから名づけられました。これが目立たないものもいます。

一生の間に海と川を行き来するものと、湖と川を行き来するものがあります。石の下に産卵します。

天竜川では、ダムよりも上流でよく見られます。

### ■食べているもの

成魚は水生昆虫などを食べています。

### ■現地調査での確認範囲

|     |     |     |
|-----|-----|-----|
| 下流域 | 中流域 | 上流域 |
|-----|-----|-----|

### ■主な生息環境

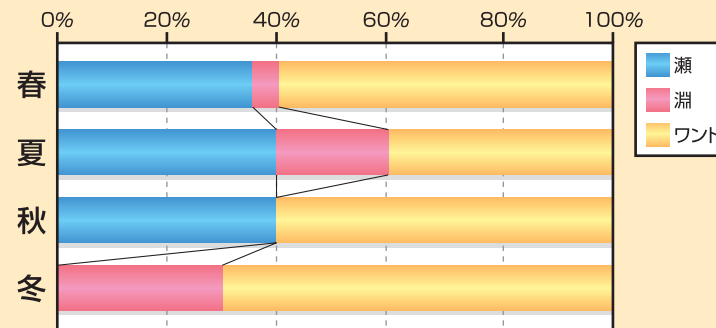
|         |
|---------|
| 河川域     |
| ワンド 淵 瀬 |

### ■生活型

|          |
|----------|
| 回遊魚      |
| □：主な確認範囲 |

## 季節によって、魚のすみかが変わっている？

オイカワなどの魚は、春から秋にかけては瀬や淵、ワンドなど広い範囲で見られます。一方、冬になると瀬ではほとんど見ることができません。このことから、魚のすみかは季節によって変化していることがわかります。



生息環境別のオイカワの確認状況 (中部大橋)